

有機JAS規格
適合資材

殺虫・殺菌剤

農林水産省登録
第24851号

クリーンワイド[®]フロアブル

硫黄・銅水和剤

®はサンケイ化学㈱の登録商標です

硫黄と**銅**で糸状菌と細菌を
ダブルブロック!!



キュウリ うどんこ病



キュウリ べと病



キュウリ 褐斑病



キュウリ 斑点細菌病

ピーマンのチャノホコリダニ、
てんさいの褐斑病を追加

適用拡大!



トマト 葉かび病



基礎
活性

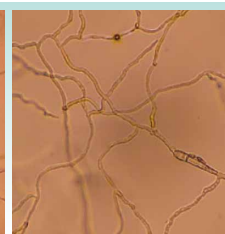
硫黄+銅

硫黄のみ

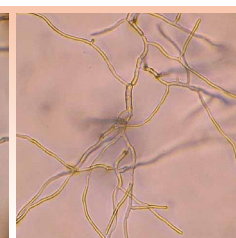
銅のみ

無処理

キュウリ
褐斑病



トマト
葉かび病



サンケイ化学株式会社



製品情報はこちら

殺虫・殺菌剤

クリーンワイドフロアブル

適用病害虫名および使用方法

農林水産省登録 第24851号
有効成分：硫黄 12.5%
塩基性塩化銅 30.5% (銅として17.5%)
性状：淡緑色水和性粘稠懸濁液体
人畜毒性：普通物(毒物及び劇物に該当しないものを指している通称)
有効年限：5年
包装：500ml×20
殺虫剤分類 UN 殺菌剤分類 M2,M1

2026年9月9日現在の登録内容

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量 (/10a)	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	硫黄を含む農薬 の総使用回数	銅を含む農薬 の総使用回数
なす科果菜類 ※1 (なす, トマト, ミニトマト, ピーマンを除く) うり類 ※2 (きゅうりを除く)	うどんこ病	500倍	100～ 300ℓ	収穫前日 まで	—	散布	—	—
ピーマン	うどんこ病、斑点病 チャノホコリダニ							
なす	うどんこ病、すすかび病 チャノホコリダニ							
トマト, ミニトマト	うどんこ病、葉かび病 すすかび病、疫病 トマトサビダニ							
きゅうり	うどんこ病、べと病 褐斑病、斑点細菌病							
さやえんどう てんさい	うどんこ病、褐紋病、褐斑病 褐斑病							

※1 及び ※2 は以下の作物が該当します。
※1：ししとう、とうがらし、甘長とうがらし、かぐやなんばん、きだちとうがらし、ハバネロ、ピカンテ、食用ほおずき
※2：うり類(成熟) …かぼちゃ、すいか、漬物用すいか、メロン、漬物用メロン、まくわうり、漬物用まくわうりが該当しますが、ノーネット系メロン及びまくわうり、漬物用まくわうりは薬害が生じる
可能性があるので使用しないでください。
うり類(未成熟) …赤毛うり、きゅうり(花)、食用ひょうたん、食用へちま、しろうり、ズッキーニ、ズッキーニ(花)、とうがん、にがうり、はやとり、ゆうがお

特長

- 糸状菌や細菌性病害、サビダニやホコリダニに効果を示し、広いスペクトラムを有する殺虫殺菌剤！
- 硫黄と銅を合わせることで、相乗的に作用し、菌糸の伸長生長、胞子形成や発芽を阻害！
- 耐性菌発達リスクが低い！
- 薬液調製時の泡立ちがなく使いやすい！
- 人畜に対する安全性が高く、使用回数制限がない！
- 有機栽培農産物生産に使用できる！

使用上の注意事項

- 使用前によく振ってください。
- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 石灰硫黄合剤等アルカリ性の薬剤との混用はさけてください。
- うり類に使用する場合は薬害を生じやすいので、次の事項に十分注意してください。
 - 幼苗期は薬害を生じやすいため、なるべく生育中期以降に散布してください。
 - 高温時の散布は薬害を生じやすく、症状が激しくなることがあるため散布はさけてください。
 - 過度な連用はさけてください。
 - ノーネット系メロン（プリンス等）、まくわうりでの使用はさけてください。
 - きゅうりに使用する場合は、黒いぼさきゅうりでは薬害を生じるおそれがあるので使用に当っては注意してください。
- さやえんどうに使用する場合は、高温多湿時は薬害を生じやすいため、気温の高い時期の使用は注意してください。
- 蚕に対して影響を及ぼすおそれがあるので、養蚕で使用する桑葉にかからないようにしてください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

安全使用上の注意事項

- 誤飲などのないよう注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の担当を受けさせてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の担当を受けてください。
- 本剤は眼に対して強い刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに十分に水洗し、眼科医の担当を受けてください。
- 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 散布液調製時及び散布の際は保護眼鏡、農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをしてください。

水産動植物に係る注意事項

- 水産動植物（甲殻類、藻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

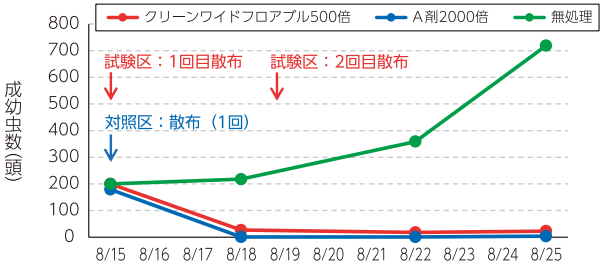
保管上の注意事項

- 直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密栓して保管してください。

● 使用前にはラベルをよく読んでください。 ● ラベルの記載以外には使用しないでください。 ● 小児の手の届くところには置かないでください。

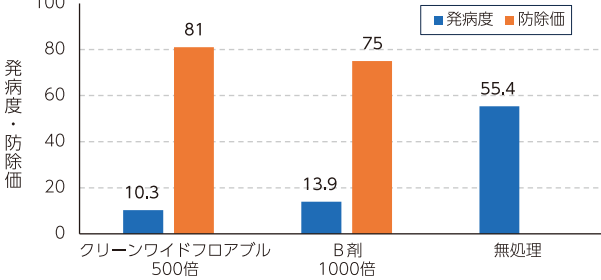
試験成績

【ピーマン／チャノホコリダニ】個体数推移



試験場所：株式会社Field Styled Lab.
作物名：ピーマン（品種：京波）
発生状況：中→多発生
処理年月日：【試験区】2025年8月15日、8月19日（作物のステージ：収穫期（草丈約70cm））
【対照区】2025年8月15日（1回）
調査月日：2025年8月15日（処理開始前）、8月18日（1回目処理3日後：2回目処理前日）、8月22日（2回目処理3日後）、8月25日（2回目処理6日後）
区制：1区 11.2㎡（1.6m×7m）10株（40主枝）/区 3連制
処理方法：試験薬剤および参考対照薬剤の処理にあたっては所定濃度に希釈した薬液を背負い式動力噴霧器により約100ℓ/10a散布した。展着剤は加用しなかった。
調査方法：達観で被害がある5株を定点としてマーキングし、各定点株から新葉を任意に2枚（10葉/区）選んでボリスチレン製シャーレへ採取して室内へ持ち帰り、実体顕微鏡により本種の成虫および幼虫個体数を計数した。

【てんさい／褐斑病】発病度・防除価



試験場所：北海道植物防疫協会
作物名：てんさい（品種：ライオン）
発生状況：多発生（接種：初発7月22日頃）
処理年月日：2025年7月3日、7月17日、7月25日、8月4日、8月12日、8月18日（6回散布）
調査月日：8月25日（6回目散布7日後）
区制：1区 3m（5畝）×4.25m=12.75㎡ 3反復
処理方法：所定濃度の薬液を背負式電動噴霧器で10aあたり120ℓ相当量を茎葉散布。
調査方法：各試験区中央3畝の30株について、病害虫発生予測基準に指数0.5を設け、発病度を算出。各区の発病度の平均値から防除価を求めた。
（発病指数）0：発病なし 0.5：成葉にわずかに病斑が認められる 1：成葉に病斑散見
2：成葉の大半に病斑が散生し、大型病斑も混在 3：成葉のほとんどが発病し壊死部が見える
4：ほとんど枯死した成葉が認められる 5：成葉の大半が枯死し、新葉の発生が目立つ
発病度 = $\frac{\sum (\text{発病指数} \times \text{株数})}{\text{総調査株数}} \times 100$
その他：7月1日に、乾燥罹病葉の粉砕物を各区の畝間に2.5g/㎡の割合でばらまき接種した。

取扱い



サンケイ化学株式会社

本社 〒891-0122 鹿児島県鹿児島市南栄2丁目9
東京営業部 〒366-0032 埼玉県深谷市榎窪町1丁目13-1
大阪営業所 〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島2丁目14-6
福岡営業所 〒818-0059 福岡県筑紫野市塔原東4丁目15-13
宮崎事務所 〒880-0056 宮崎県宮崎市神宮東3-6-19